

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	利用者が楽しみを持ち充実した時間を過ごせるように、販売会を通しての貴重な体験や事業所内外の取り組みを充実させています
	内容	地域での販売会なども再開されたことを受けて、各種の販売会に利用者と一緒に参加することができます。販売会を通してお客様との直接的な関わりは利用者にとっても貴重な体験につながっています。日常的に事業所内では革工芸作業を主な活動としていますが、特技としている編み物に取り組んだり、脳トレや麻雀、オセロゲーム、ゲームソフトを通してのスポーツなども楽しめる環境があります。さらに、年に3回事業所内でシェフをお呼びしてイタリアンの食事会の開催や移動水族館の開催、日帰り旅行などの楽しみの時間も大切にしています。
2	タイトル	メンバー懇談会を継続しており、開設当初から利用者の意思を尊重していくこと、利用者の要望を表出できる環境を大切にしています
	内容	事業所では、「個人の尊厳」、「自立の尊重」を大切な考えの中に置いています。開設当初から利用者の意思を尊重していくこと、利用者の要望を表出できる環境を大切にしています。具体的に利用者の意見や要望が表出できるように、毎月利用者を交えたメンバー懇談会を開催し、事業所から今後の行事予定を説明したり、毎月テーマを決めて、利用者自らが意見や要望を気軽に表出できる場として継続して取り組んでいます。事業所内でのレク活動や行事なども利用者も企画の段階から参画でき、利用者の意欲の向上にもつながっています。
3	タイトル	
	内容	
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	情報の共有化を強化するために、現状の課題を明確にして、職員間で情報を共有していく仕組みが強化できることを期待します
	内容	必要な情報を共有するために、利用者の日々の活動内容を記録している「サービス提供記録表」、利用者に変化が生じた際には「特変者ファイル」に、その他必要な情報は「業務ノート」に記録して必要な情報を共有しています。利用者の帰宅送迎後には日々打ち合わせを行い必要な情報を共有できるようにしています。しかしながら職員自己評価の自由意見では、情報共有が少ないことや共有ができていないことがあるなどの意見が昨年度から継続しています。どこに課題があるのかを明確にして、情報を共有していくための仕組みの強化が望まれます。
2	タイトル	現状整備しているマニュアルについて、誰が、いつ見直していくのか、見直しの基準が明確になるとよいと思います
	内容	倫理綱領や職員行動指針、相談、苦情等対応マニュアルのほか、障害者の権利擁護、虐待が起きてしまった場合の対応マニュアル、事故や感染症の予防、防災、非常災害時の対応、食中毒予防対策、日々の支援に必要な入浴介助や、移乗、移動、介護の技術など各種マニュアルを整備しています。各種の業務を標準化してマニュアルを整備できていることは評価できます。しかしながらマニュアルの作成日がかかなり前である事や改訂が止まっているケースも見受けられるため、マニュアルをだれがいつ見直していくのか、見直しの基準を明確にできるとよいと思います。
3	タイトル	
	内容	